

エコアクション21 環境経営レポート



株式会社 西野造園

発行日 2024年1月12日

対象期間:2022年10月1日 ~ 2023年9月30日

目 次

1. 環境経営方針	P1
2. 会社概要	P2
3. 体制組織	P3
4. 環境負荷の実績	P4
5. 中長期の環境経営目標	P5
6. 環境経営活動計画書	P6
7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価次期の取組内容	P7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P8
9. 代表者による全体評価・見直し結果表	P9

1 環境経営方針

〔環境理念〕

株式会社西野造園は、生活環境を保全・創造する事業活動を通じ、緑に関する知識と技術力をもって、地域に緑の大切さを広く啓発し、積極的に環境保全活動に取り組む企業を目指します。

〔基本方針〕

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、組織全体で環境への配慮と事業活動が与える環境負荷の低減に努めます。そのために、下記の実行事項を実施することによって、環境経営の継続的な改善と環境汚染の予防に努めます。

1. 環境負荷の低減と環境保全活動への取り組み

- 1) 省エネルギー活動を推進し、CO2の削減に努めます。
- 2) 産業廃棄物の収集運搬業務において、適正処理の確保に努めます。
- 3) 省資源化及びリユース、リサイクルを推進します。
- 4) 水の効率的利用及び日常的な節水に努めます。
- 5) 化学物質使用量を抑制、管理します。
- 6) 環境に配慮した物品等を購入、使用します。
- 7) 環境配慮工事の提案・実践に努めます。

2. 環境関連法規制等の遵守

環境関連の法規制等を遵守し、法規制に対し責任・信頼感のある企業を目指します。

3. 環境コミュニケーションの積極的実施

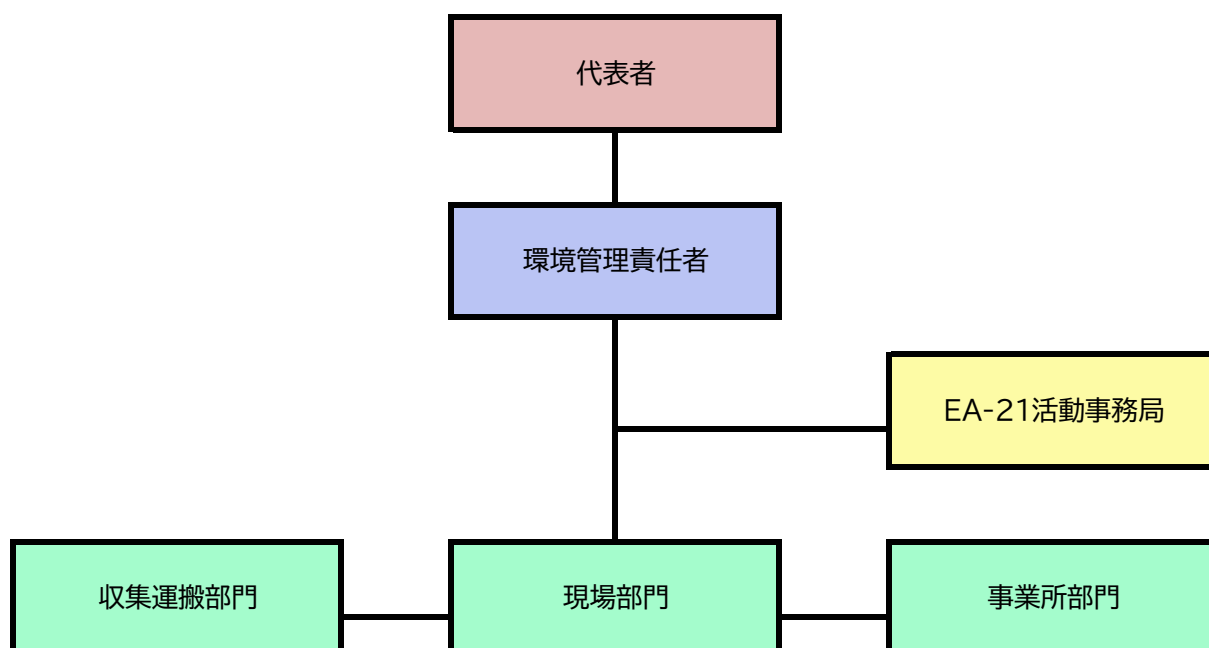
環境活動レポートを公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実践し、企業の社会的責任を果たします。また、全従業員にこの環境方針及び必要事項を周知し、体系的な取り組みを目指します。

平成27年7月4日 制定
令和5年9月30日 改訂
株式会社西野造園
代表取締役 **西野初夏**

2 会社概要

1. 事業所名及び代表者名 株式会社西野造園
代表取締役 西野 初夏
2. 所在地
(本社) 〒422-8076
静岡県静岡市駿河区八幡4丁目1番15号
(資材置場) 静岡県静岡市駿河区有東1丁目7-15
(苗圃) 静岡県静岡市葵区新聞1358-1
3. 環境管理責任者及び連絡先 環境管理責任者 西野 初夏
連絡担当者 西野 初夏
TEL 054-283-3131
FAX 054-285-3231
E-mail nishino@zoen.co.jp
https://nishinozoen.com
4. 従業員数 12人
5. 事業活動の内容 造園・土木工事
植栽等管理
- 建設業許可
許可番号 静岡県知事許可(特-4)第1393号
建設業の種類 造園工事業/土木工事業/とび・土工事業
 - 産業廃棄物収集運搬業(登録対象外)
許可番号 静岡県 第02201113666号
有効年月日 2019/9/27~2024/9/26
許可品目 廃プラスチック類、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、
がれき類、紙くず、木くず、繊維くず 以上7品目
許可車両 2tダンプ 3台 4tトラック 1台
3tダンプ 1台 2tトラック 1台 計6台
※積替え及び保管行為を除く
※現在、収集運搬は自社分のみであり実績は無し
6. 事業規模 設立年月日 昭和50年1月9日(創業:大正12年1月)
資本金 2,000万円
- | | 単位 | 49期
2022.10/1~2023.9/30 |
|--------|----------------|----------------------------|
| 売上高 | 百万円 | 294 |
| 従業員数 | 人 | 12 |
| 事務所面積 | m ² | 193.34 |
| 資材置場面積 | m ² | 249.54 |
| 圃場面積 | m ² | 1356.0 |
7. 事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
8. 認証・登録の対象範囲 株式会社西野造園 全社員及び全事業活動

3 体制組織



担当	役割・責任・権限
代表者	① 環境経営方針の作成と従業員への周知 ② 環境への取組を実施するために必要な経営資源の準備及び投入 ③ 全体の評価と見直し ④ 環境管理責任者の任命 ⑤ 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	① 環境負荷・環境への取組の自己チェックの実施 ② 環境経営目標の達成状況取りまとめ及び必要な是正処置を行う ③ 環境マネジメントシステム運用状況を代表者に報告する
EA-21活動事務局	① 環境管理責任者の補佐 ② EA-21における文書の作成、記録の管理 ③ 法規制最新版の管理
部門責任者	① 環境経営計画の実施と、記録の管理 ② 問題点の把握と是正の実施 ③ 各担当者の教育・指導

4-1 環境負荷の実績（前年度対比）

項目		単位	48期	49期	増減率	
			2021.10.1 ~ 2022.9.30	2022.10.1 ~ 2023.9.30		
二酸化炭素排出量		kg-CO2	44,825	39,469	11.9%減	
事務所でのCO2削減	電力	kWh	20,122	16,173	19.6%減	
	都市ガス	m3	20	15	25.0%減	
車両・重機でのCO2削減	ガソリン	L	5,880	5,897	0.3%増	
	軽油	L	9,044	7,451	17.6%減	
廃棄物	産業廃棄物処分量		kg	15,628	19,425	24.3%増
	一般廃棄物	切枝・刈草(焼却)	kg	53,390	58,210	9.0%増
		切枝・刈草(リサイクル)	kg	423,480	398,160	6.0%減
水道使用量の削減		m3	186	240	29.0%増	
環境コミュニケーション及び社会貢献		-	実施	実施	-	

4-2 環境負荷の実績（目標値対比）

項目		単位	48期	49期		
			基準年	目標	実績	
				増減率	増減率	
二酸化炭素排出量		kg-CO2	44,825	44,377 0.1%減	39,469 11.1%減	
事務所でのCO2削減	電力	kWh	20,122	20,102 0.1%減	16,173 19.5%減	
	都市ガス	m3	20	20 0.1%減	15 25.0%減	
車両・重機でのCO2削減	ガソリン	L	5,880	5,874 0.1%減	5,897 0.4%増	
	軽油	L	9,044	9,035 0.1%減	7,451 17.5%減	
廃棄物	産業廃棄物処分量		kg	15,628	15,612 0.1%減	19,425 24.4%増
	一般廃棄物	切枝・刈草(焼却)	kg	53,390	53,337 0.1%減	58,210 9.1%増
		切枝・刈草(リサイクル)	kg	423,480	423,057 0.1%減	398,160 5.9%減
水道使用量の削減		m3	186	186 0.1%減	240 29.0%増	
環境コミュニケーション及び社会貢献		-	実施	継続	継続	
100万円当たりのCO2排出量		kg-CO2	224.13	223.91	133.37	

* 電力の二酸化炭素調整後排出係数は中部電力㈱の「2021年度0.388kg-CO2/kWh」

auでんきの「2021年度0.417kg-CO2/kWh」を使用。

5 中長期の環境経営目標

項目		単位	48期	50期	51期	52期
			基準年	目標0.1%減	目標0.1%減	目標0.1%減
二酸化炭素排出量		kg-CO2	44,825	44,377 0.1%減	44,377 0.1%減	44,377 0.1%減
事務所でのCO2削減	電力	kWh	20,122	20,102 0.1%減	20,102 0.1%減	20,102 0.1%減
	都市ガス	m3	20	20.0 0.1%減	20.0 0.1%減	20.0 0.1%減
車両・重機でのCO2削減	ガソリン	L	5,880	5,874 0.1%減	5,874 0.1%減	5,874 0.1%減
	軽油	L	9,044	9,035 0.1%減	9,035 0.1%減	9,035 0.1%減
廃棄物	産業廃棄物処分量		kg	15,628	15,612 0.1%減	15,612 0.1%減
	一般廃棄物	切枝・刈草(焼却)	kg	53,390	53,337 0.1%減	53,337 0.1%減
		切枝・刈草(リサイクル)	kg	423,480	423,057 0.1%減	423,057 0.1%減
水道使用量の削減		m3	※240.0	238.0 0.1%減	238.0 0.1%減	238.0 0.1%減
環境コミュニケーション及び社会貢献		—	実施	継続	継続	継続

*要求事項6 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善として造園基幹技能者による環境にやさしい(低負荷の)工法の提案を行います。

*長期環境経営目標は48期を基準年として0.1%減を目指します。

*ガソリン・軽油使用量は、仕事量によって増減するが今後もエコドライブなど推進しCO2削減に努めます。

*グリーン購入率については、今後も建設資材を検討し購入率向上に努めます。

*化学物質である農薬を使用する際は、環境や地域住民の方々などに十分配慮して使用することとし、設計図書の指示に基づく為、目標は設定しない。

(4-2環境負荷の実績について)

*軽油の使用量が少なかったのは遠くの現場が減った為。

*廃棄物の量の増加は受注する仕事内容によって増加に繋がった。

*水道使用量増加は、今まで水圧が弱かった為水量が増す操作をした為結果として使用量の増加となったが、今までと同様節水に努めて行きたい。

※水道使用量は49期を基準値に変更する。

6 環境経営活動計画書

目標	目標達成手段	責任者	部署	スケジュール/月															
				10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
二酸化炭素排出量削減																			
エネルギー 使用量削減	電力	・空調温度の適正化(冷房28℃暖房22℃)	稲葉	全体															
		・不要照明の消灯 ・PC、OA機器等未使用時の電源OFF																	
		・照明等定期的清掃、点検																	
	都市ガス	・冬場の使用が多いため夏場は削減の徹底を図る(温水温度の適正化) ・食器を洗うときは設定温度を低くする ・温水使用方法(流しっぱなし禁止)	森下 松井	全体															
ガソリン 軽油	・アイドリングストップ ・効率的なルートで現場往復する ・定期的な車両点検とエコドライブの推進 ・効率的な運行経路の選択	小澤	全体																
廃棄物排出量削減																			
産業廃棄物 一般廃棄物	・分別の徹底及び適切な処分 ・不必要なコピー・プリントの削減 ・2in1や裏紙使用によるペーパーレス化 ・シュレッダー廃紙のリサイクル化 ・詰め替え型商品の購入	事務	全体																
	・作業ミスによる廃棄量の削減 ・マニフェストによる適正管理 ・切枝・刈草(焼却)の適正処理 ・切枝・刈草(堆肥)の適正処理 ・建設副産物リサイクル率向上に努める ・資材の整理整頓	現場 責任者	各現場																
水使用量削減																			
上水	・節水ポスター掲示 ・節水コマ取付け(削減出来ない場合) ・水漏れの点検	森下 松井	全体																
グリーン購入の推進																			
事務用品 資材	・事務用品等グリーン購入の調査	戸田	事務所																
	・環境に優しい資材等の購入検討	松井	現場																
環境コミュニケーション及び社会貢献																			
地域に喜ばれる活動	・みどりの保全及び緑化推進に努める ・環境に配慮した設計、施工	松井	各現場																
適正な農薬の使用																			
化学物質	・化学物質の使用については設計図書の 指定に基づいて適正に管理使用する	岸田	現場																
自らが施工する環境性能の向上																			
工具 車両等	・環境に配慮した機械を積極的に使用する	岸田	現場																

7 環境活動計画の取組結果とその評価 次期の取組内容

目標	計画	実績	評価	次期の取り組み内容	
二酸化炭素排出量削減					
エネルギー 使用量削減	電力	・空調温度の適正化(冷房26℃暖房22℃)	  換気を行い空調温度の適正化を行った 各所に掲示し意識向上を高めた	○	継続して行う
		・不要照明の消灯 ・PC、OA機器等未使用時の電源OFF		○	
	・照明等定期的清掃、点検	○			
都市ガス	・冬場の使用が多いため夏場は削減の徹底を図る(温水温度の適正化)	夏期、冬期の適温表示をした 	○	継続して行う	
	・食器を洗うときは設定温度を低くする ・温水使用方法(流しっぱなし禁止)		○		
ガソリン 軽油	・アイドリングストップ ・効率的なルートで現場往復する ・定期的な車両点検とエコドライブの推進 ・効率的な運行経路の選択	啓発ポスター等の掲示 車両点検でエコ運転の意識を高めた 	○	継続して行う	
廃棄物排出量削減					
産業廃棄物 一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底及び適切な処分 ・不必要なコピー・プリントの削減 ・2in1や裏紙使用によるペーパーレス化 ・シュレッダー廃紙のリサイクル化 ・詰め替え型商品の購入 	コピー機機能の有効活用 unnecessaryなカラー印刷をモノクロ印刷へ 廃棄物の削減に繋がる詰替え品等のエコ商品の使用を継続した	○	継続して行う	
	<ul style="list-style-type: none"> ・作業ミスによる廃棄量の削減 ・マニフェストによる適正管理 ・切枝・刈草(焼却)の適正処理 ・切枝・刈草(堆肥)の適正処理 ・建設副産物リサイクル率向上に努める ・資材の整理整頓 	資機材の整理整頓 仕事量によって廃棄物の増減はあるが適正処理によってリサイクルを心掛けた	○	継続して行う	
水使用量削減					
上水	<ul style="list-style-type: none"> ・節水ポスター掲示 ・節水コマ取付け(削減出来ない場合) ・水漏れの点検 	啓発ポスターを張り、節水の意識を高めた 洗濯はまとめ洗いをした	△	継続して行う	
グリーン購入の推進					
事務用品 資材	・事務用品等グリーン購入の調査	積極的に行った	—	継続して行う	
	・環境に優しい資材等の購入検討	購入検討	—		
環境コミュニケーション及び社会貢献					
地域に喜ばれる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの保全及び緑化推進に努める ・環境に配慮した設計、施工 	  園芸市、麻機遊水地クリーン作戦参加 今後も継続して行いたい	○	緑化イベントに参加 みどりの保全及び緑化推進に努める 地域に喜ばれる活動をしていきたい	
適正な農薬の使用					
化学物質	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質の使用については設計図書の指定に基づいて適正に管理使用する 	適正に使用	○	農薬を使用する際は、環境や地域住民の方々などに十分配慮して使用します	
自らが施工する環境性能の向上					
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した工具・機械・車両を積極的に使用する 	トリマー1機購入	○	積極的に行う	

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

遵守状況確認日
2023/9/30
確認者 戸田

環境関連法規等名称	適用内容又は規制基準値	当社の適応及び対応	遵守状況
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事施工計画書工事完了届	○
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬及び処分業者との委託契約	契約書の締結	○
	産廃収集運搬業許可の更新	許可証の有効期限(2024/9/26)	○
	マニフェストの管理・保管	D票/E表の返却・5年間	○
	マニフェストの期間内返却	90日以内又は180日以内	○
	マニフェストの年間集計と静岡市長への報告	毎年6月30日までに提出	○
	廃棄物の飛散防止	車両荷台ヘシートを被わせる及び 過積載の禁止等	○
	産業廃棄物の管理保管	見やすい場所に掲示板(60cm×60cm)の設置	○
道路交通法	安全運転の義務	エコドライブに努める	○
家電リサイクル法	特定電化製品の適正な引渡し	販売店又はメーカーにて(有料)処分	○
国土交通省排ガス 3次規制	排出ガス対策型建設機械	バックホウ・発電機など	○
PCリサイクル法	OA機器の適正な引渡し	販売店又はメーカーにて(有料)処分	○
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○
農業取締法	対象外への飛散防止	静岡県農業管理指導士	○
	在庫保管状況	管理記録簿の確認	○
グリーン購入法	環境物品等の購入に努める	購入記録	○
静岡市みどり条例	積極的にみどりの保全及び緑化の推進に努める	市が実施するみどりの保全及び 緑化推進に関する施策に協力する	○
静岡市条例10条	中間処理委託先の現地確認	年に1回現地確認を行う	○
フロン排出抑制法	空調機の簡易点検	定期的な簡易点検の実施、記録の保管 機器廃棄後記録を3年間保管する事	○

2. 関連機関からの違反指摘及び利害関係者からの違反指摘、訴訟等の受付は過去3年間にわたりありませんでした。

9 代表者による全体評価・見直し結果表

見直しに必要な情報	
項目	確認(必要に応じて評価・コメント記載)
① 環境経営方針	<input type="checkbox"/> 問題なし
② 環境経営目標及び目標達成状況	<input type="checkbox"/> 継続して取り組む
③ 環境経営活動計画及び取組実施状況	<input type="checkbox"/> 継続して取り組む
④ 外部コミュニケーション・対応記録	<input type="checkbox"/> 問題なし
⑤ 環境関連法要求一覧及び順守状況	<input type="checkbox"/> 問題なし
⑥ 問題点の是正・予防処置実施状況	<input type="checkbox"/> 継続して取り組む
⑦ その他	<input type="checkbox"/> 問題なし

全体評価と見直し		
見直し項目	見直しの有無	「有」の場合の指示事項等
① 環境経営方針	有(無)	
② 環境経営目標及び目標達成状況	有(無)	
③ 環境経営活動計画	有(無)	
④ 環境に関する組織	(有)無	責任者に変更あり
⑤ その他のシステム要素	有(無)	
⑥ その他(外部への対応等)	有(無)	

【全体評価・コメント】

環境経営方針に沿って取り組みができています。

特に新型コロナウイルスの位置づけが5類に移行され感染対策も緩和された事で換気しながらのエアコンの使用が減り、電力量の使用率が減少しました。

しかし、ロシアのウクライナ侵攻の長期化によって燃料費の増加、原材料価格の高騰が起っておりますます環境負荷に対する意識を高めていく必要があると確信しました。

今後も目標達成に向け日々の業務に取り組みながら企業の社会的責任を果たしてゆきたい。

2024年1月11日
株式会社西野造園
代表取締役 西野初夏